

森林ボランティアに向けた コナラ林内でのホンシメジ栽培技術

【背景】

森林ボランティアの活動の輪をさらに広げ、持続可能な里山林整備を行うためには、森林ボランティアの活動メニューを増加させ、継続的に参加してもらえる仕組みづくりをしていく必要があります。

里山林の多くを占めるコナラ林内において、美味しく、貴重なきのこである**ホンシメジの栽培技術**を確立させることができれば、魅力的な活動メニューになります。

【目的】

コナラ林内でのホンシメジ栽培適地を明らかにし、**森林ボランティアの方々でも扱える栽培技術の確立**を目指しました。

【成果】

コナラ・アラカシの根系を切断し、ホンシメジ菌が入ったポリ袋を根の先にくくりつけ、再び埋設する手法を用い、ホンシメジの子実体を発生させることができました。



ホンシメジ(*Lyophyllum shimeji*)

- ・シメジ科シメジ属のきのこで、ブナ科、マツ科樹種と共生
- ・古来から美味しいきのこの代表
- ・ビン栽培は可能なものの、野外栽培での商業生産は無い



コナラ林の整備: 林内の低木等を伐採



最短
1年後



ホンシメジ子実体発生

藤堂(2012)

図1 コナラ林内におけるホンシメジ栽培の流れ

○選択するコナラ林

- ・上層木の大半をコナラが占める
斜面上ー中部のコナラ林
- ・斜面方位 南向きは乾燥に注意
- ・土壌 pH4.3ー6.0
- ・傾斜(できれば40° 未満)

※急傾斜地に施工する場合は
表土が流れるので、土留などで
袋や根が地面に出ないようにする

○選択するコナラ

- ・上層を構成している個体
- ・部分枯していない個体
- ※コナラ1本に対して、複数の
ホンシメジ菌をつけて良い

○使用するコナラの根

- ・直径5mm-30mmの根
(最適は20mm前後)



注意事項

イノシシが多いところ
⇒掘り返しを防ぐため、
ホンシメジ菌埋設後、
フェンスやネットをかぶせ、
ペグにて固定



○コナラ林整備方法

- ・上層木を残し低木を伐採
- ・ホンシメジ菌埋設予定のコナラ周
り(半径1.5m程度)の落ち葉を掻く

【技術の活用】

森林ボランティアが整備に取り入れることができるようにマニュアルを作成し、本技術の活用を図ります。